

令和7年兵庫県赤十字有功章等贈呈式を開催

紅葉も鮮やかな11月17日、兵庫県支部にて「令和7年兵庫県赤十字有功章等贈呈式」を開催しました。式典では、日本赤十字社に多額の寄付や奉仕活動などでご支援・ご協力いただいた方々に、有功章や感謝状が贈呈されました。また、紺綬褒章など国からの表彰も併せて伝達し、日頃のご支援・ご協力に対し深く感謝の意を表しました。

今回の受章者は、179の個人・法人・団体のほり、そのうち24名の代表の方々が壇上で章を受けられました。

式典後には、赤十字国際委員会(ICRC)駐日代表部広報統括官の眞壁仁美氏による講演『紛争下の“生きる力”に寄り添う ～イスラエル・ガザ人道危機から見る赤十字の役割～』が行われ、参会者は国外で深刻化する人道問題について真剣に耳を傾けていました。

受章された皆さま、誠におめでとうございます。今後とも赤十字活動へのご支援・ご協力をよろしくお願いいたします。



看護学生が小児病棟・院内保育所に訪問

—ハロウィン会で子どもたちと交流—

姫路赤十字看護専門学校には学生奉仕団の一つに小児病棟訪問班があります。この班では、姫路赤十字病院と院内保育所を訪問し、子どもたちに四季折々の行事を届けています。10月27日には、ハロウィン会を行いました。

学生たちは、思い思いの仮装をして、手作りのプレゼントや絵本の読み聞かせ、歌を歌うなどして、子どもたちと交流しました。初めは緊張していた子どもたちも、学生が「トリック・オア・トリート!」と声をかけ、子どもたち各々の籠に、折り紙のキャンディやクッキーを入れてもらえると、その表情が和らぎ笑顔になりました。

活動後、学生からは「手作りのプレゼントを喜んでもらえてよかった」や、「子どもとの触れ合いを通して、関わることの難しさや楽しさを学んだ」、「教科書で学んだ成長・発達を実際に見て学びが深まった」といった感想が寄せられ、子どもの成長発達や援助を学ぶ貴重な機会となりました。

今後も子どもたちの楽しみや笑顔が増えるよう小児病棟訪問班の活動を推進していきます。



1.17ひょうご安全の日のつどいに参加します

1月17日にHAT神戸周辺で開催される「1.17ひょうご安全の日のつどい」において、兵庫県支部ではみそ汁の配布等を行いますので、是非ご参加ください。

兵庫県支部1階駐車場

・みそ汁の配布(10:00～ ※なくなり次第終了)

・パネル等展示

なぎさ公園

・赤十字奉仕団によるアルファ米とスープの配布(13:00～ ※なくなり次第終了)

・心肺蘇生とAEDミニ講習(10:00～12:00)



講習会のご案内

対面での講習会のご案内

救急法基礎講習(1日の講習)	令和8年2月21日(土)13:00～17:30 会場:日本赤十字社兵庫県支部7階
救急法救急員養成講習(2日間の講習)	令和8年2月22日(日)・23日(月・祝)9:30～17:30 会場:日本赤十字社兵庫県支部7階
救急法基礎・救急員養成講習(3日間の講習)	令和8年2月7日(土)・8日(日)・11日(水・祝)9:30～17:30(初日は13:00～17:30) 会場:日本赤十字社兵庫県支部災害救護支援センター(兵庫県三木市)
幼児安全法支援員養成講習(2日間の講習)	令和8年2月14日(土)・15日(日)9:30～17:00 会場:日本赤十字社兵庫県支部7階

※申込期日は開催日(初日)の1ヵ月前までです。

オンラインで学べる赤十字講習会のご案内

講習内容	開催日	時間
【救急法】知っておきたい!急病・手当の基本☆	令和8年2月26日(木)	10:30～11:30
【幼児安全法】子どもにAEDって使えるの?(乳幼児の一次救命処置)	令和8年2月26日(木)	14:00～15:00
【防災セミナー】災害への備え(地震編)☆	令和8年3月17日(火)	10:30～11:30
【幼児安全法】子どもの看病手当のしかた☆	令和8年3月17日(火)	14:00～15:00

☆印の講習は講義のみです。それ以外は実技を含みます。企業や各種団体でもオンライン講習にお申込みいただけます。上記日程以外でも開催することができますので、当支部救護課講習係にご連絡いただき、社内研修等にご活用ください。講習についての最新情報は、ホームページにて随時発信しています。ホームページにてご確認いただくかお電話にてお問い合わせください。

講習に関するお問い合わせ	Tel.078-241-1499
ホームページ(講習のページ)	https://www.hyogo.jrc.or.jp/lecture/

遺言・相続財産・お香典でのご協力について

「自分が亡くなった後、これまで築いた財産の一部を赤十字に寄付したい」といったご相談や、大切な方を亡くされたご遺族から、「故人の遺産を社会のために役立ててほしい」というお申し出が増えています。日本赤十字社では、このような尊いご意思に応えるために、遺贈(遺言によるご寄付)、相続財産等のご寄付を承っております。

お問い合わせは ☎0120-078-456(振興課)まで

※隔月(奇数月)に発行しています。



〒651-0073 神戸市中央区脇浜海岸通1丁目4番5号 TEL.078-241-9889 FAX.078-241-6990

赤十字 兵庫 検索 <https://www.hyogo.jrc.or.jp/>

ひょうごの赤十字 1月号[2026年1月1日発行]

Japanese Red Cross Society Hyogo Chapter

ひょうごの赤十字+

2026
1

■ ホームページ
<https://www.hyogo.jrc.or.jp/>
■ インスタグラム
https://www.instagram.com/nisseki_hyogo/
■ Facebook
<https://www.facebook.com/nisseki.hyogo/>

Instagram

facebook

いのちと健康を守る活動へのご協力に感謝いたします。



- ・災害時における対応力と連携体制の強化のために
- ・地域赤十字奉仕団員研修会を開催
- ・姫路市赤十字奉仕団から姫路赤十字病院小児病棟へ、紙芝居を寄贈
- ・令和7年度兵庫県中学校高等学校青少年赤十字協議会例会(第2学期)を開催
- ・多可赤十字「創立80周年記念」病院フェスタ
- ・兵庫県日赤有功会視察旅行を実施
- ・令和7年兵庫県赤十字有功章等贈呈式を開催
- ・看護学生が小児病棟・院内保育所に訪問 —ハロウィン会で子どもたちと交流—



災害時における対応力と連携体制の強化のために

大阪国際空港航空機事故対策総合訓練

11月4日、大阪国際空港で航空機事故を想定した総合訓練が実施されました。

この訓練は、自衛隊、警察、消防、自治体、医療などの関係機関が連携し、消火救難・災害医療活動を迅速かつ適切に行う体制を確認することを目的としています。

当支部からは神戸赤十字病院の救護班1班が現場の「中等症者救護所(黄色エリア)」で医療活動を担当しました。また、支部職員は「現場合同調整所」にて情報収集や調整業務を行いました。

初めてこの訓練に参加した支部職員は、次のように感想を述べていました。

「現場合同調整所では、敷地内の各エリアで行われている対応について、情報の集約を行いました。役割分担や区分が曖昧なまま運用が始まったため、情報伝達や指揮命令系統に混乱が生じる場面がありました。多くの関係機関が参加する本訓練では、参加者の経験の差が大きく影響し、緊急時における判断や臨機応変な対応にばらつきが生じました。個人の能力向上に努めるとともに、経験差を踏まえた役割分担や手順の標準化を図る必要があると感じました。」

関係機関とともに明らかにした課題に取り組み、より安全で信頼される救護体制の実現を目指して、今後も訓練を重ねてまいります。



病院船訓練

11月16日、六甲アイランドにて船舶を活用した訓練に参加しました。

本訓練は、令和6年に施行された「災害時等における船舶を活用した医療提供体制の整備の推進に関する法律」に基づく活動の検証の一環として行われ、神戸赤十字病院の救護班1班が参加しました。

訓練では大規模災害や感染症発生時に国・関係機関が連携し、船舶を活用した医療体制を構築することを目的とし、具体的には、“被災地外の港で医療従事者や資器材を乗船させ、被災地内の港で傷病者を乗せて再び被災地外の港へ搬送する”救護脱出船を模擬し、実運用での課題の抽出と改善に取り組みました。

この訓練を通じて、船舶を医療目的で活用する際の法令遵守や、関係機関の連携による安全かつ円滑な医療提供体制の重要性を改めて確認しました。また、船舶医療の有効性や運用上の留意点についても貴重な知見を得ることができました。

今後も被災者支援のため関係機関と連携を図りながら、安全で実効性の高い医療支援体制の構築に努めてまいります。



地域赤十字奉仕団員研修会を開催

毎年恒例の地域赤十字奉仕団員研修会が10月から始まりました。

今回は、赤十字の活動紹介として、「ひょうごの赤十字この1年」、大阪・関西万博のパビリオン「国際赤十字・赤新月運動館(〜もし少しでも ころがうごいたなら きっと世界は変わっていく〜)」の動画を視聴しました。

その後、「突然のケガや災害時において身近な人を守る応急手当」というテーマで、三角巾を使ったきずの手当や、三角巾がない場合の代替方法としてレジ袋を使った対応を体験しました。

研修会には奉仕団員だけでなく、地域住民の方々も参加され、「赤十字の活動を詳しく知ることができた」、「三角巾の使い方を忘れないよう家に帰って復習したい」、「普段使っているレジ袋の活用方法がわかり、参加してよかった」といった感想が多く寄せられています。



▲三角巾を使ったきずの手当



▲レジ袋を使った腕の吊り方を練習

姫路市赤十字奉仕団から姫路赤十字病院小児病棟へ、紙芝居を寄贈

12月10日、姫路市赤十字奉仕団から姫路赤十字病院小児病棟に紙芝居が寄贈されました。

これは、姫路市赤十字奉仕団が、令和4年度から子供たちのために行っている奉仕活動の一つで、今回が4回目となります。

姫路市赤十字奉仕団の岩田稔恵委員長(写真左から3人目)から「くるみ割り人形」「北風と太陽」など8種類の紙芝居と木製の紙芝居舞台が手渡され、「入院している子どもたちの癒しとなればうれしいです。みんなで一緒に物語を楽しんでもらえたら」と挨拶されました。

岡田病院長(写真中央)は「いつもありがとうございます。紙芝居をいただき、自分自身の幼き日を思い出しました。最近の子どもたちもきっと喜んでくれると思いますし、入院生活の支えになると思います」と話しました。



いのちと健康を守る赤十字活動は
皆さまからお寄せいただく活動資金で成り立っています。
活動資金にご協力をお願いします

郵便局・ゆうちょ銀行からご協力いただけます
口座記号番号:01110-0-1136
口座加入者名:日本赤十字社兵庫県支部
※窓口で取扱いの場合、振込手数料は無料です。

令和7年度兵庫県中学校高等学校青少年赤十字協議会例会(第2学期)を開催

11月9日、青少年赤十字第2学期例会を兵庫県立尼崎小田高等学校が主催する「あまおだ減災の日」にブースを出展させていただき形式で開催しました。

青少年赤十字メンバーは、胸骨圧迫の速さや深さについて正確さを競う「胸骨圧迫レース」を運営し、地域の方々や卒業生の皆さんにも体験していただきました。

神戸青年赤十字奉仕団は、赤十字の防災教材「ぼうさいまちがいさがし きけんはっけん!」を活用し、災害時に身を守るための基礎的な知識について、来場された方々と一緒に確認しました。

昼食時には、非常食のレスキューフーズを試食していただくなど、防災や減災への意識を高める機会となりました。



多可赤十字「創立80周年記念」病院フェスタ

10月25日、多可赤十字病院にて創立80周年を記念し、地域の皆さまに感謝を伝える「病院フェスタ」が開催されました。

多可赤十字病院は、昭和20年に柏原赤十字病院の分院として発足し、昭和23年に中町赤十字病院として独立、平成22年に多可赤十字病院と名称を変えて現在に至り、80周年を迎えました。

フェスタでは、地元の中学校や団体などにご協力いただき、吹奏楽演奏やダンス、和太鼓などのステージで会場を盛り上げていただき、キッチンカーで地元グルメを楽しむことができた他、院内や駐車場で医療や健康、防災などに触れていただく体験コーナーを設置し、多くの方々にご来場いただきました。

多可赤十字病院ではこれからも安心を住民に届ける地域包括医療・ケアを担ってまいります。



兵庫県日赤有功会視察旅行を実施

10月21日〜23日にかけて、兵庫県日赤有功会の視察旅行として、14名が熊本県および鹿児島県を訪問しました。

熊本県では、赤十字ゆかりの地として、ジェーンズ邸(日赤記念館)を視察しました。このジェーンズ邸は、1877年に佐野常民が征討大総督 有栖川宮熾仁親王から博愛社(現在の日本赤十字社の前身)の設立許可を受けた、まさに日本赤十字社の発祥の地です。

館内には当時の貴重な資料が展示されており、日本赤十字社創設に関わった先人たちの足跡をたどることができました。

その後、鹿児島県へ移動し、知覧特攻平和会館などを訪れました。ここでは、災害や戦火に見舞われることなく平穏に暮らせることの尊さを改めて心に刻み、平和への思いを新たにしました。



▲ジェーンズ邸(日赤記念館)